①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・正三角形や二等辺三角形を敷詰めると，平面が埋まることを理解している。

・三角定規の角の大きさを知っている。

○既習内容とつなぐ見方・考え方

・角を分けたり合わせたりして，角の大きさ

を計算で求める学習をしている。

≪学習問題≫

三角形の3つの角の大きさの和は，

何度になりますか。

教材研究ノート№5-B-5

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫



②見通し：三角形の3つ角の和は180°になりそうだ。

→折ったり切って集めたりして，3つの角を集めて，直線になれば180°といえそうだ。

②学習課題：三角形を折ったり，切ったりして1点に集めて，直線になるか調べよう。

4つの角の大きさの和を求めよう。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

③個人追究：3つの角を1点に集め求める方法を説明する。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「三角形が重ならないように，折ったり，切って集めたりしたら，直線ができた。3つの角の和は180°になる。」

「三角定規の角を合わせると，どちらも180°になる。」

④共同追究後半（思考を深める）

「どんな大きさの三角形でも，180°になるのかな？」

→「大きさの違う三角定規でも，角の大きさは同じだから三角形の3つの角を合わせると180°になる。」

「三角形の角に印をつけて集めたとき，大きな三角形で，3つ集めたら直線ができた。」

　「大きな

⑤まとめ（子どもの言葉で）

・三角形の3つの角を1つの点に集めると，直線になる。

・三角形の3つの角を集めると180°になる。

・大きさや形が違っても，どの三角形の3つの角を合わせると180°になる。

⑥定着･活用問題

たけしくんは、右の図を見て

「アとイの角を合わせると，140°

になる」といいました。あなたは，たけしくんの意見に賛成ですか，反対ですか。その理由を書きましょう。

ア

140°

イ

40°

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・合同の三角形を敷き詰めたテープの形を観察したり，実際に並べてみたりすることから，どんな三角形も3つの角を合わせると直線になることに気付かせたい。そこから三角形の内角の和は180°ではないかという予想や，どんな三角形でも成り立つかという疑問をもって，操作しながら確かめる活動にすることが大切である。

【板書計画】